

佐々木隆『大学教育の行方』武蔵野学院大学佐々木隆研究室、平成28年8月

ISBN: 978-4-9907997-0-0

はじめに, p.5-6

第1章 大学教員

- 1 大学教員になるには, pp.7-10
- 2 専任教員と兼任教員
 - (1) 専任教員, pp.11-12
 - (2) 専任教員になるプロセス, pp.12-13
 - (3) 兼任教員, pp.13-15
- 3 研究者としての大学教員, pp.15-18
- 4 教育者としての大学教員
 - (1) 授業科目担当者, pp.18-20
 - (2) 学生指導者, pp.20-21
- 5 組織人としての大学教員
 - (1) 研究, p.22
 - (2) 教育, pp.22-24
 - (3) 校務, pp.24-25
- 6 大学教員に求められているもの, pp.25-27
- 7 教務部長の役割, pp.27-35

第2章 文部科学省と厚生労働省

- 1 大学設置
 - (1) 大学設置と私, pp.36-37
 - (2) 大学設置と教員資格審査, pp.37-40
 - (3) 大学設置と学問分野, pp.40-42
- 2 教職課程
 - (1) 教職課程設置と教員審査, pp.42-45
 - (2) 『『英語が使える日本人』の育成のための行動計画』と教職課程, pp.45-50
 - (3) 学習指導要領の改訂と情報機器の利用, pp.50-53
- 3 保育士養成課程
 - (1) 教員配置, p.54
 - (2) 教職課程と保育士養成課程, pp.54-57
- 4 第三者評価
 - (1) 法令的な位置付け, pp.57-58
 - (2) 認証評価機関, pp.58-61

第3章 教育課程

- 1 3つの方針とは, pp.62-63
- 2 職業教育
 - (1) 職業教育とは, p.63
 - (2) 大学の役割とは何か, pp.64-66
 - (3) 就業力に必要なもの, pp.66-67
- 3 教養教育
 - (1) 教養とは何か, pp.68-69
 - (2) 「新しい時代における教養教育の在り方について (答申)」(2001), pp.69-72
 - (3) 改正教育基本法, pp.72-74
- 4 人材認証制度の活用
 - (1) 教育基本法と大学設置基準等の改正～キャリア教育を巡って, pp.74-76
 - (2) 人材認証制度, pp.76-77
 - (3) 大学教育と人材認証制度, pp.77-78
 - (4) 教育支援人材, p.78-80

第4章 GPA と学修成果の可視化

- 1 GPA とは, pp.81-83
- 2 シラバス, p.84
- 3 到達目標を設定するとは, pp.84-87
- 4 学修成果の可視化に向けて, pp.87-89

第5章 大学教員の社会貢献

- 1 公開講座
 - (1) 公開講座とは, pp.90-91
 - (2) 公開講座の実際, pp.91-92
 - (3) 公開講座の実際の事例, pp.92-97
- 2 教員免許状更新講習
 - (1) 教員免許の更新制度導入までの流れ, pp.97-101
 - (2) 更新講習制度の講習内容, pp.101-104
 - (3) 更新講習開講校, pp.104-06
 - (4) 実際の講習の事例, pp.106-110
 - (5) 実際の更新講習の事例と分析, pp.110-122
 - (6) 講習担当者として, pp.123-124
- 3 講演等
 - (1) 講演, pp.124-128

- (2) 特別授業, pp.128-130
- 4 行政との係り, pp.130-131
- 5 研究業績の公表, pp.131-137

附 録 インターネットと若者

- 1 デジタルネイティブとスマホネイティブ
 - (1) デジタル時代・デジタル社会とは何か, p.138
 - (2) 「デジタルネイティブ」とは何か, pp.138-139
 - (3) デジタル世代, pp.139-140
 - (4) デジタルネイティブ世代とは, pp.140-141
 - (5) デジタルネイティブの幻想, pp.141-142
- 2 ネット社会とモラル
 - (1) 世代間によるデジタル格差, p.142
 - (2) 情報モラルとエアポッケの時期, pp.142-144
 - (3) 抑制か推進か, pp.144-145
 - (4) 教育現場での情報モラル教育, pp.145-146
- 3 インターネットによるコミュニケーション
 - (1) ポップカルチャーから見たインターネット, pp.146-147
 - (2) デジタルネイティブからスマホネイティブへ, pp.147-150
 - (3) デジタル社会での表現の問題, pp.150-152
 - (4) モラルは誰が教えるのか, pp.152-156
 - (5) SNS, pp.156-158
 - (6) Youtube, p.159
 - (7) ニコニコ動画, pp.159-162

おわりに, pp.163-167